

日高山脈トイレマップの作成配布について

山のトイレを考える会

1. 日高山脈のトイレ設置状況

日高山脈襟裳国定公園が2024年（令和6年）6月25日に「日高山脈襟裳十勝国立公園」となった。

国立公園化により、登山者の増加が予想される。登山者の増加により、大雪山国立公園のように稜線にトイレがない日高山脈は、登山者のし尿やティッシュの散乱が危惧される。

日高山脈の麓の登山口には15箇所トイレが設置されている。山中のトイレは幌尻岳の中腹の「幌尻山荘」だけである。

国定公園の時は登山口に携帯トイレ回収ボックスがあるのは、アポイ岳登山口（2013年設置）及び幌尻山荘と北電取水口（2022年設置）のみだったが、国立公園後、下記の箇所に新たに設置された。

1. 北戸蔦別岳登山口（千呂露川コース）
2. チロロ岳登山口
3. 日高山脈山岳センター（50円で使用済携帯トイレを回収してくれる）

携帯トイレブースは、国定公園の時の2013年にアポイ岳5合目山小屋の横にテント型2基が設置された。2022年には幌尻山荘が貯留式汲み取りトイレを止め、携帯トイレブースに改修し、携帯トイレ導入に舵を切った。

2. トイレマップの作成について

当会では登山者に日高山脈の山岳環境を守ってもらうため、2025年6月に「日高山脈のトイレマップ」を作成した。

日高山脈の山小屋とトイレ、携帯トイレブース、携帯トイレ回収ボックス等の設置場所を図示。そのほか「登山者に守って欲しいこと」「携帯トイレの使い方」「使用済み携帯トイレの処分」「幌尻山荘のトイレ事情」を記載した。

できるだけ多くの登山者に知ってもらい、トイレマナーを守ってもらうため、約2,000部配布した。

3. マップで留意した点

登山口のトイレ、携帯トイレブース、回収ボックスがどの行政区域に所属しているのか、また国立公園計画で指定された歩道18路線とそのアクセス道が分かるように図示した。

4. トイレマップの配布先

2025年の主な配布先は下記のとおり。

- ・日高山脈博物館（日高町）
- ・日高山脈山岳センター（中札内村）
- ・アポイ岳ジオパークセンター（様似町）
- ・ユウパリコザクラの会
- ・道央地区勤労者山岳連盟
- ・中札内役場
- ・日高山脈関連の自治体、山岳団体等



（文責：仲俣善雄）